

3月18日（金）出発前夜

（坂本賢）

壮行会も終了してただいま帰宅しました。多くの人に集まっていたいただきほんとうに感謝しています。私たち4人は、明日出発し、25日に戻る予定です。僕たちの敵は、「無関心」です。みんなで、被災地の状況を伝えていただきたいです。よろしくをお願いします。

3月19日（土） 12時30分

会社出発



3月19日（土）

（坂本賢）

後部座席は荷物の中・・・大変ですが、ガマンです。



(藤田雄太)

3月19日、災害支援チームは弘前を出発し、岩手県にある東和薬局を目指した。

移動中感じたのだが、荷物のおかげで我々の席が異常に狭い。すごくつらかった。

そうこうしているうちに、16時45分、東和薬局に到着した。この日は少しミーティングをし、1日を終えた。

(中嶋優太)

天気:雨

気温:3℃

体調:軽い腹痛、咽頭痛あり

今高速に乗っています。

走るのは数台の輸送トラック、やたらと多い自衛隊の派遣隊、それに白いハイエース。

聞き慣れないAMのラジオと静かな高速道路、心なしかどんよりとした街の風景。

生まれて初めて味わうこの状況。

一週間前とは全く違う景色、雰囲気にとりまきます。急に周りの人だけがいなくなったような、そんな感じ。

この度、弊社の災害支援活動派遣チームの一員として被災地に赴くことになりました。

活動場所は岩手県は釜石市、大船渡市など被災地避難所

活動期間は19日(土)~25日(金)(延期予定あり)

活動内容は現地ボランティア活動の後方支援、弊社からの救援物資の搬送、義援金の直接寄付など

派遣メンバーは薬剤師2名、介護福祉士1名、事務社員1名

今週の月曜日に派遣活動内容が決定し、火曜日の夜に出発の予定でした。ご存知の通り、ボランティア活動にも制限がかけられ、高速道路やガソリンなどの交通手段の問題、刻々と変わる現地の状況等があり、ふたを開けてみれば当初のプランがほぼないような状況で本日の出発の運びとなりました。

このようなバタバタと大変忙しい業務の最中、ご指導ご提案下さいました町田

社長をはじめ、昨日の壮行会、出発式を催して下さった本部社員の方々、毎日のように救援物資の準備に協力いただいた各薬局の方々に感謝致します。

また、今回の長期にわたる急な欠員に対応して頂いた原田地責、フル回転で協力してもらっている2課のみんなにも重ねて感謝したいと思います。
さらには今回の派遣にあたり、個人的に協力いただいたり、心配してもらった皆さんにも感謝します。

準備は万全のはずが、拭い去れない不安。
数々のミーティングや壮行式、出発式での激励でなお一層身の引き締まるのを感じます。

岩手県薬剤師会の方々と協力し、支援活動の後方支援を中心に、被災地の方々の健康的な生活を1日でも早く取り戻せるように頑張ります。
今後、弊社の地域住民に同じ状況を強いられた時、我々薬剤師として何が出きるのか、また何をしなければならないのかをこの目で見て、身体で感じ学んできたいと思います。

出来ればみなさんにもこのような形で逐一報告していきたいと思います。

(坂本賢)

先ほど、唯一決定している宿泊先へ到着しました。
部屋のお湯は使用できず、大浴場は10時までです。
状況が状況なので仕方ありません。
でも、不平、不満をお風呂で漏らす人はいませんでした。

また、駐車場には、尾張小牧、横浜、島根？鳥取？など他県ナンバーも見受けられました。
時期的に旅行とは考えにくいかな？？
みんなが、この災害へアプローチしているのでしょうか？
私たちも、考えて行動したいと思います。

それでは、初日終了！！

